



「秋の雑木林」32cm x 50cm

「まんが日本昔ばなし」の原作者が贈る
池原昭治民話絵展

1994年**9月27日(火)～10月10日(月)**

休館日/月曜日(ただし10/10は開館)

開館時間/午前9時～午後5時(入館は4時30分まで)

入館料/無料

●9月25日(日) 午後1時～トークショー(美術館ホールにて)

池原昭治 vs 蓮井孝夫

(西日本放送アナウンサー)

主催/塩江美術館・四国新聞社

同時開催

熊野俊一作品展

常設展示室

町立**塩江美術館**

香川県香川郡塩江町大字安原上字星越602番地
TEL(0878)93-1800(FAX共通)

民話絵の世界をめざして

「池原昭治民話絵展にて」

私が、本格的に絵を描き始めたのは、四国の工芸学校に在りてからでした。その後、機会があって四国新聞社に入り、そこでカットや四コマ漫画などを描いていました。30年程前、東京都練馬区にある東映撮影所でアニメーションの仕事もして、自分の描いたキャラクターが、画の中を動き回るのには、まるで夢のようで感激しました。民話絵の世界には、私が24～5歳の頃から各地の伝説とか昔話に興味を持っていて、いつかは民話や昔話を題材にした、1枚の絵として見てもらえるような作品を描くのが夢だったので。

そして、今年度環境庁から環境月間の絵を依頼されて、約1ヵ月をかけて制作に打ち込み武成野の林を舞台とした子供や動物たちが木洩れ日の雑木林の中で戯れる、ほのぼのとした作品を発表しました。6月10日から始まった「ライブ・フェア'94」のオープニングの際には、秋篠宮殿下をお迎えし御覧いただき本当に感激しました。

自分なりに自分の絵を描き続けてきて本当によかったと思います。

作家略歴

池原 昭治（いけはら・しやうじ） 1939年、香川県生まれ。高松市仏生山町出身。童画家、日本漫画家協会会員。日本各地の民話を訪ね歩き、「民話絵」という独自の画風を確立。

- 主な著作等 「池原昭治画集（カッコウの鳴く朝・わらへのいる風景）」、「日本民話300池原昭治が旅先で聞いた昔話と伝説」「絵本 小豆島の札所」「絵本 秩父の札所」「絵本 埼玉のお地蔵さん」「がおろのおわび」「秩父のお祭り」（以上、木馬書館）。
- その他、「讃岐の絵本」「高松の絵本」「丸亀の絵本」「丹沢の絵本」「狭山の絵本」「不老川の絵本」「川越の伝説」「続川越の伝説」「四国の昔話」「民話大橋のみえる風景」「戸田のむかしばなし」など多数。著作以外では、テレビ「まんが日本昔ばなし」の原作・演出・作画を担当。朝日新聞・四国新聞・上毛新聞などの新聞をはじめ、雑誌・週刊誌等に連載漫画を掲載。郵政省「ふるさと切手」の「通りゃんせ」の原画を担当。94年度環境庁イメージポスター制作担当。

次回展覧会のお知らせ **「藤澤一族の軌跡」**
10月12日水～10月30日火